



たまねぎ



発行日：令和6年7月5日

1. 卸売価格の動向

○187円/kg（7月2日）

➢ 平年比：151%

○7月の価格見通し

高値水準で推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○305円/kg（6月全国平均）

➢ 前月比：97%、平年比：118%

➢ 東京：270円（3玉）

➢ 大阪：295円（3玉）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：7/20（前月7/20）

➢ 大阪：3/10（前月5/10）

（機構調べ）

3. 家計消費動向

○464g/人（5月全国平均）

➢ 前月比：92%

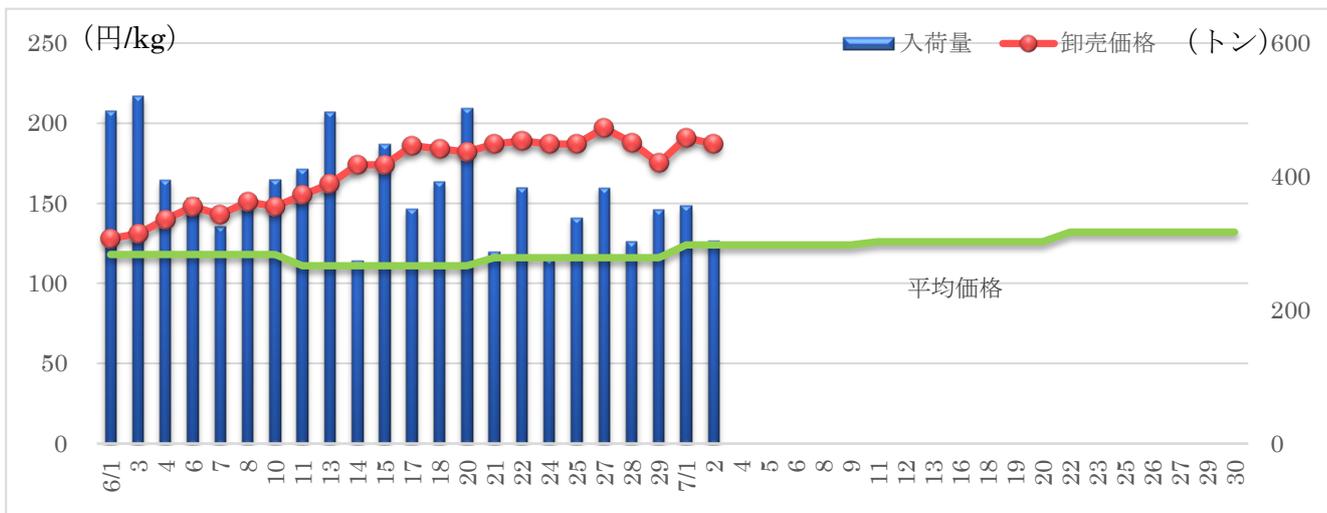
➢ 前年同月比：101%

○5,304g/人（2023年年間）

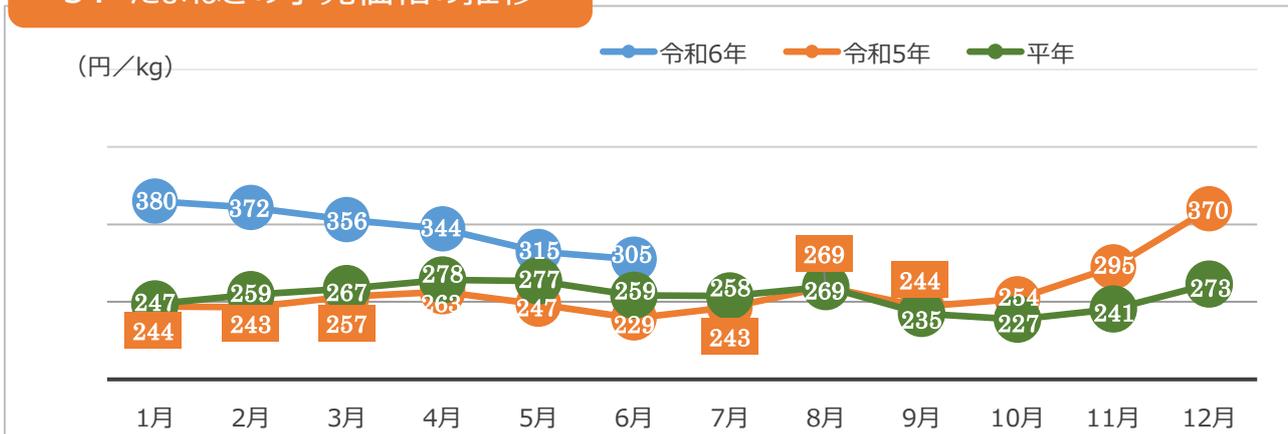
➢ 前年比：105%

（総務省統計局家計調査）

4. たまねぎの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



5. たまねぎの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道岩見沢市 (5/22)	前年並み	やや良	早い	—
愛知県碧南市 (5/17)	前年並み	平年並み	平年並み	遅い
兵庫県淡路島 (5/31)	前年並み	平年並み	早い	平年並み
香川県三豊 (6/21)	減少	平年並み	平年並み	早い
愛媛県西条市 (6/14)	やや減少	平年並み	平年並み	平年並み
佐賀県白石 (5/21)	減少	平年並み	平年並み	平年並み

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



香川県三豊：選果場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (07/06~08/02)

		週別の天候		
07/06~07/12		北・東日本と西日本日本海側では、前線や低気圧の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 西日本太平洋側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。		
07/13~07/19		北日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 東・西日本では、前線や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。		
07/20~08/02		北日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。		
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低10 並20 高70% 高い見込み	少20 並30 多50% 多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% 平年並が多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
東日本	日本海側	低10 並20 高70% 高い見込み	少20 並30 多50% 多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% 平年並が多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
西日本	日本海側	低10 並20 高70% 高い見込み	少20 並30 多50% 多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% 平年並が多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮たまねぎ)

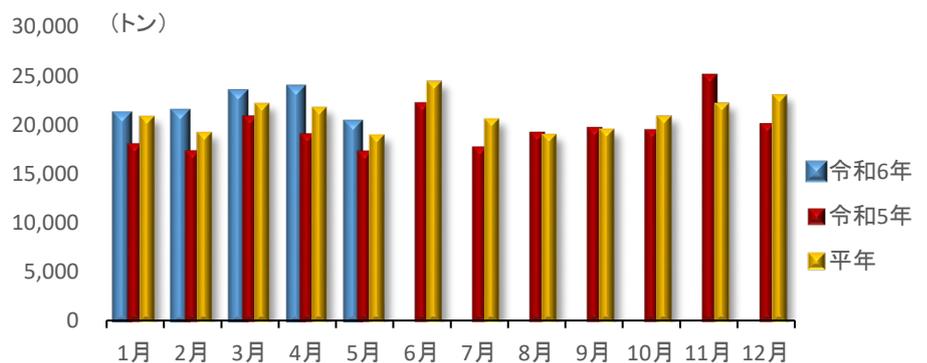
○20,081 t (5月輸入量)

➤ 前年同月比：117%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 18,775トン
- 2位 NZ 706トン
- 3位 オーストラリア 577トン

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

6月は、中心となった兵庫県産、佐賀県産は収穫が田植え作業などと重なったことや4~5月の天候不順などで品質劣化が生じており、品薄感が強く高値で推移しました。

7月は、引き続き兵庫県産、佐賀県産が中心となりますが、作柄は厳しく、価格は平年を上回って推移する見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793